THE FOREST
OKINAWA
ニュースレター
ザ・フォレスト
2025年10月号

公園からのお知らせ

利用者の皆様へ

開園時間/9:00～17:30
休 園 日/毎週月曜日
※キャンプ場の予約は１か月前からできます。

秋のチョウ

リュウキュウウラナミジャノメ
タテハチョウ科(ジャノメチョウ亜科)　沖縄、慶良間諸島に分布。

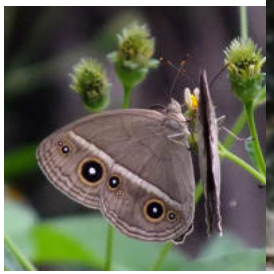
和名は「琉球」に産するウラナミジャノメの意味。成虫の翅の長さ22mm。雌雄の区別は雄前翅表に暗色の性標があることで区別する。沖縄の固有種で、本島では読谷村、沖縄市以北に分布する。発生は5～６月、8～９月、10～11月。成虫は林道沿いをウサギがピョンピョンと跳ねるように飛ぶのですぐわかる。
　食草はイネ科メヒシバ、オオササガヤ、エダウチチヂミザサ、カヤツリグサ科コゴメスゲ、タシロスゲ、オオシンジュガヤ。　訪花はサシグサ。

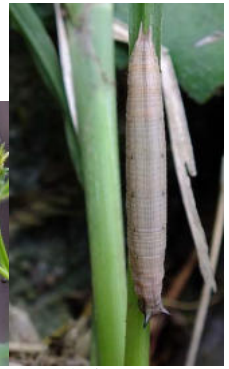
リュウキュウヒメジャノメ
タテハチョウ科(ジャノメチョウ亜科)　沖縄諸島、慶良間、久米島に分布。
　成虫の翅の長さ23mm。本州にいるヒメジャノメと同種とされていたのが、近年別種として記載され、沖縄の固有種となった。
　食草はイネ科ヒナヨシ、ジュズダマ、メヒシバ、オヒシバ、チガヤ、ヤエヤマカモノハシ、ササクサ、ススキ、エダウチチヂミザサ、オガサワラスズメノヒエ、リュウキュウチク、スズメノコビエ、カヤツリグサ科コゴメスゲ、オオシュンジュガヤ。
訪花はネズミモチ、サンゴジュ、テリハノブドウ、サシグサ。

ウスイロコノマチョウ
タテハチョウ科(ジャノメチョウ亜科)　アフリカ～東洋熱帯に広く分布
　成虫の翅の長さ35mm。季節変異がある。夏型は翅裏の斑紋が波状で眼状紋が発達するのに対し、秋型は翅裏が枯葉模様になる。
　食草はイネ科ジュズダマ、メヒシバ、オヒシバ、チガヤ、タイワンカモノハシ、タイワンアシカキ、ササクサ、ススキ、イネ、ギネアキビ、オガサワラスズメノヒエ、タチスズメノヒエ、ナピアグラス、ツノアイアシ、サトウキビ、ヒメササキビ、エノコログサ、セイバンモロコシ、パラグラス、ヒメオニササガヤ、ダンチク。
　訪花はサシグサ、ネズミモチ、ハチドリノキ、ツルヒヨドリ。

リュウキュウウラナミジャノメ

リュウキュウウラナミジャノメ終令幼虫


リュウキュウヒメジャノメ


終令幼虫

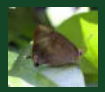
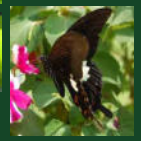
自然観察会

テーマ「秋のチョウ類観察会」
2025年10月18日(土) 9:30 ～ 11:00

県民の森大自然の一つ、生息するチョウ類について観察します。園内には沖縄を代表する固有種のオキナワカラスアゲハ、リュウキュウウラナミジャノメ、リュウキュウヒメジャノメが見られます。森にすむアオバセセリ、ムラサキツバメ、スミナガシも記録されていて、豊富な種類がなぜ生息可能なのかを解説します。

日　　時　2025年10月18日(土)
　　9：30～11：00
集合場所　沖縄県 県民の森　総合案内棟 前
参 加 料　1,000円
定　　員　10名(小学生以上)
講　　師　比嘉正一(学芸員)
主　　催　沖縄県 県民の森
　(指定管理者：沖縄文化スポーツイノベーション)

※実施の様子を撮影し、SNSや資料等に使うことがあります

お問合せ　098-967-8092 (月曜日休園)
アクセス
〒904-0402　沖縄県国頭郡恩納村安富祖 2028
開園時間：9時～18時半(4月～8月),9時～17時半(9月～3月)
THE FOREST OKINAWA

ウスイロコノマチョウ夏型

蛹

ウスイロコノマチョウ秋型

終令幼虫

県民の森ニュースレター　ザ・フォレスト　2025年10月号
県民の森管理事務所　〒904-0402　沖縄県国頭郡恩納村安富祖2028
TEL098-967-8092　FAX098-967-8094　https://kenminnomori.okinawa/
指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション[タピックグループ]
編集・発行:比嘉正一